
「ゴナドトロピン依存性思春期早発症に対する LHRH アナログ製剤による性腺抑制療法中および終了後の骨塩量の変化に関する研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2014 年 4 月 1 日から 2025 年 8 月 18 日の期間に埼玉医科大学病院 小児科を受診し、思春期早発症と診断され、LHRH アナログ製剤で治療を受けた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

思春期早発症に対する LHRH アナログ製剤治療による骨塩量の変化を検討します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2030 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2025 年 10 月 20 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

病歴、既往歴、併用薬の有無、年齢、性別、身長、体重、骨塩量、体脂肪率、骨年齢、検査データ（ALP、LH、FSH、エストラジオール、テストステロン、DHEA-S）

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である菊池透が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

思春期早発症と診断され LHRH アナログ製剤で治療を受けた患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学病院 小児科 菊池透（研究代表者）
- ・埼玉医科大学病院 ゲノム医療科 沼倉周彦
- ・埼玉医科大学病院 小児科 武者育麻

- ・ 埼玉医科大学病院 小児科 川名宏
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床研修センター 萩原美穂

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚望

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 小児科 菊池透

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1218（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：ゴナドトロピン依存性思春期早発症に対する LHRH アナログ製剤による性腺抑制療法中および終了後の骨塩量の変化に関する研究

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学病院 小児科 菊池透